



循環型経済の開発に向けた 皆さまのパートナー

循環型経済とは？

循環型経済では、廃棄物と汚染をなくし、製品や材料を継続して使い、自然のシステムで再生を行います。天然のオーガニック原料が循環する生物学的プロセスを通じ、エコシステムに再び戻ってくるように、持続的な循環でなにもひとつムダにしない経済を実現することが目標です。

「採掘・製造・廃棄 (take-make-waste)」の経済モデルを拒否し、価値の創出から資源利用を切り離すことで、循環型経済は気候変動や国連の持続可能な開発目標に取り組み、刺激的な新しいビジネスチャンスを生み出しています。それはすなわち、人と地球にも優しいことにつながります。

オランダの取り組みは？

コミットする

オランダは 2050 年までに完全な循環を実現し、2030 年までに原材料の消費を半減することを目指しています。大きな一歩として、全国原材料協定に共同署名。180 の加盟組織は、2030 年までに原材料の使用を 50% カットすることを公約に掲げています。2018 年には、バイオマス・食品、プラスチック、製造、建設、消費財に関して、移行に向けた 5 つのアジェンダを策定しました。



促進する

オランダ政府は、国民の起業家精神を後押しするため、Versnellingshuis (オランダ循環アクセラレーター) などの循環志向型イニシアチブを積極的に支援しています。Versnellingshuis は循環型イノベーションを加速させるために政府が設立し、中小企業から寄せられるさまざまな疑問や難問の相談に乗っています。



リードする

行動パターンの改革には、率先して手本を示すことがなにより大切です。[オランダの循環性指標](#)は 24.5% で、2050 年の循環型経済実現に向けて大きく前進していることを示しています。



協働する

オランダの知識機関、企業、政府は、多くの分野にまたがるユニークな協働モデルで緊密に協力し、国際的に活動しながら、専門性とリソース、ネットワークを共有しています。PACE の主催国であり、40 の提携国の 1 つであるオランダは、各国政府と企業、国際組織と連携して循環型経済のスピーディーな進展を目指しています。



支援する

企業や団体が循環型の計画を実施できるように、オランダ政府は法律や規制による障壁を撤廃・調整する態勢を整えています。企業に知識と専門性、ネットワークへのアクセス、市場参入のサポートを提供するため、いわゆる「グリーンディール政策」が導入されています。



立法する

全国循環型経済プログラム (NPCE) 2023-2030 は、価格設定、基準策定、景気刺激策を組み合わせることで採用しながら、循環性の課題に目標を設定した対策で取り組んでいます ([出典：オランダ政府](#))。



グローバル循環型経済：事実と影響



1970年代以降、世界の資源需要は地球が再生可能な範囲を大幅に超えてきました。世界経済はすでに地球1.7個分の資源を消費しています。行動を起こさなければ、2050年までに地球3個分の資源が必要になります。



世界的に見て、食品廃棄物を国に例えると、中国と米国に次いで第3位の温室効果ガス排出国となります（出典：UNEP）。



循環型経済モデルは生産性と雇用を押し上げるとともに、途上国における、管理されていない廃棄物や水・土壌の汚染など、主要な問題を回避する助けになる可能性があります。



エレン・マッカーサー財団の報告によると、欧州とインド、中国で重要産業分野に循環型経済を導入すると、温室効果ガスは2050年までに22～44%削減できる可能性があります（出典：EU）。



オランダ応用科学研究機構（TNO）は、循環型経済が拡大することによりオランダへ年約73億ユーロ（GDPのおよそ1.4%に相当）の市場機会をもたらされるとしています（出典：オランダ政府）。



EUによると、2030年までの循環型経済は欧州に1兆8,000億ユーロ規模のプラス効果をもたらすとしています（出典：マッキンゼー報告書、2016年）。



循環型経済はオランダだけで、年5万件の雇用を創出します（出典：Rood & Hanemaaijer、2017年）。



アムステルダムとハーグ、ロッテルダムはIMDのスマートシティ指数でトップ50にランクインしています（出典：スマートシティ指数）。

数字で見るオランダの循環型経済

1位

固形廃棄物の管理処理
(出典：環境パフォーマンス指数 EPI)

1位

廃水処理、同率首位に他5カ国
(出典：環境パフォーマンス指数 EPI、2022年)

100%

解体・建設による廃棄物のリサイクル
(出典：欧州連合統計局)

100%

廃水処理
(出典：環境パフォーマンス指数 EPI)

90%以上

容器包装廃棄物の回収
(出典：欧州連合統計局)

ほぼ80%

容器包装のリサイクル
(出典：欧州連合統計局)

24.5%

オランダの循環性指標

50%以上

プラスチック容器包装のリサイクル
(出典：欧州連合統計局)

2つのケーススタディ

CIRCO

CIRCO は、企業を循環型の設計原則に導き、循環型の製品・サービスやビジネスモデルの開発を支援しています。CIRCO のアプローチとツールは「長持ちする製品」の枠組みに基づき、デルフト工科大学により開発されました。CIRCO は 200 を超える企業、150 人のプロのクリエイターと協力し、知識と経験の共有やコミュニティにおけるネットワークと協働の拡充を図る場として機能しています。

Fairphone

Fairphone は、コンポーネントを自由に交換できるモジュラー式スマートフォンを開発しました。紛争問題と関係のない新型スマホは、ドライバー1本あれば数分で分解可能。独自の保護ケースも付属し、すべての部品が交換可能でも製品寿命の長さを主な目標に掲げています。

お問い合わせ先

<https://hollandcircularhotspot.nl> www.circulairondernemen.nl
www.government.nl/topics/circular-economy

オランダ 企業庁

オランダ インフラ・水管理省

オランダ 外務省

www.nlplatform.com – 2023年4月